

放射線に関わるリスクコミュニケーション活動状況

概要

- 環境省では、環境中に放出された放射性物質対策を進めると同時に、放射線や地域の環境再生への取り組みなどについて、わかりやすい情報を提供しています
- 放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター、環境再生プラザを主な拠点として活動しています

これまでの活動状況

4月30日時点

項目	2024年度 4月分	2024年度 累計	
■放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター (単位:回)			
・自治体職員や相談員等の活動の支援	研修会	0	0
	専門家派遣	0	0
・住民の放射線に関する理解醸成の支援	住民セミナー	0	0
	車座意見交換会	0	0
■環境再生プラザ (単位:回)			
・専門家派遣	自治体など	1	1
	小中学校など	0	0
	その他	1	1
・移動展示	2 (2日)	2 (2日)	
■その他 (WBC単位:日) (ガンマカメラ単位:台日)			
・内部被ばく検査(WBC)の支援	1	1	
・ガンマカメラ活用 リスクコミュニケーション支援	0	0	

(放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター)

放射線による健康不安等の各種相談対応、専門家派遣、研修会やセミナーの開催、線量測定等の支援を行っています

◆研修会の例



放射線の知識・技術の習得を目指し、研修会を開催します（オンラインも可能）

◆専門家派遣の例



放射線量の測定や自治体などが主催する住民への説明会などへ専門家を派遣します

◆車座意見交換会の例



日常感じている放射線に関する疑問について、少人数で意見交換をします

◆放射線教育の例



放射線を正しく理解する授業を支援します（教員の研修会も実施します）

(環境再生プラザ)

市町村や学校などに環境再生に関する情報の提供、専門家派遣・移動展示、地域とのコミュニケーションを推進しています

◆専門家派遣

〈自治体など〉

- ・ 4/26 南相馬市環境政策課（環境回復推進委員会モニタリング調査報告）

〈その他〉

- ・ 4/26 UR都市再生機構 東北震災復興支援本部（新任者研修）

◆移動展示

- ・ 4/17 環境省 福島地方環境事務所（新任者研修）
- ・ 4/26 UR都市再生機構 東北震災復興支援本部（新任者研修）



新任職員向けに放射線に関する研修（4/26 UR都市機構）



研修内容に合わせたパネルの展示（4/26 UR都市機構）